

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	健康係
■評価事業名称	子宮がん検診			
■事業開始年度				
■評価事業コード	040200 - 006	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	02 病気の予防、早期発見、早期治療の推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称	健康増進法、がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針			
■関連計画の名称	北上市健康づくりプラン			
■事業の目的と概要	子宮頸部及び体部に発生するがんを早期発見し、早期治療に結びつける。(集団検診・個別検診)(頸部・体部)問診・内診・頸部細胞診・体部細胞診・事後管理等			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	子宮がん検診	20歳以上の女性	20歳以上の市民を対象に、子宮頸部の検体採取による細胞診検査を実施する。集団検診及び市内3箇所の医療機関で実施。	集団検診21日実施。個別検診は市内3か所の医療機関で実施。対象者9,556人、受診者3,502人。受診率36.6%。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	15,962	16,565	15,424	16,259	
人件費	2,628	2,312	3,077	2,901	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	18,590	18,877	18,501	19,160	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	子宮がん検診年間受診日数	32日間	32日	28日	21日	検診委託業者との日程調整及び各検診との日程、会場の調整により実績値となった。個別医療機関での実施は日数に含まれていない。
03	子宮頸部及び体部がん検診受診率	38.4%	36.7%	35.7%	36.6%	(頸部受診者数)÷(頸部対象者数)×100

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

04	単位当たりコスト	5.36千円	5.21千円	5.52千円	5.47千円	フルコスト÷受診者数
----	----------	--------	--------	--------	--------	------------

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

2年に一度の検診間隔のため、単純な経年比較はできないものの、30%超の受診率を維持している。

問題点・課題等

検診の周知方法の工夫が必要と思われる。令和2年度オープン of 検診新施設の活用方法について検討が必要。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

早期発見・早期治療にはがん検診が有効であるため、事業継続が必要。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了